

## 子ども読書会議（中学生の部）

- 日時 平成16年8月12日 12:45～14:30
- 場所 教育センター 201研修室
- 参加者 中学生 13人 (名簿は71ページ)  
           子ども読書活動推進計画策定委員会委員 7人  
           教育委員 1人

### 1 本をよく読みますか。

- ・毎日少しずつ読む。 ・たくさん読む。多いときは1日1冊読む。
- ・朝の読書の時間で読む。 ・1週間に1冊読む。 ・週に1回読む。
- ・雑誌を月に3～4冊読む。

### 2 どんなジャンルの本を読みますか。

- ・歴史                      ・恋愛もの                      ・ファッション、芸能
- ・ファンタジー          ・十数巻続く長編もの              ・スリルのあるもの
- ・物語                      ・映画化、テレビ化したもの      ・感動できるもの      ・社会小説

### 3 本の入手について

- ・購入する。                      ・主に購入し、時々図書館で借りる。
- ・図書室，図書館で借りる。
- ・主に図書室，図書館で借り，興味のある本は購入する。

### 4 読書のよさについて

- ・話の内容を想像できる。                      ・本の世界の中で，疑似体験ができる。
- ・夢中になれる。                      ・色々な知識を得ることができる。
- ・色々な空想の世界や昔のことに触れられる。      ・自分と違った見方があることを知る。
- ・教養を得たり，感情をコントロールする方法を学べる。

### 5 本を読まない人はなぜ読まないのか。

- ・部活動などが忙しく，時間がない。      ・読書の楽しさを知らないから。
- ・国語，特に長い文章が苦手。              ・気に入った本を読もうとする思い切りがない。
- ・自分に合った本，興味を持てる本を探せず，また，探す機会がない。
- ・本以外の情報源が多くあるため，読書の奥深さを求めなくなった。

### 6 もっと多くの人が本を読むようになるためには

- ・おもしろかった本を薦める。              ・本屋や図書館に行くことを勧める。
- ・学校が本を読むきっかけ作りを行う。

## 7 読書の楽しみを広げるためには

- ・図書新聞や放送，学級活動でお薦めの本を紹介する。
- ・図書室に行く時間を設け，読書の機会をつくる。
- ・新刊購入の際に欲しい本のアンケートをとる。
- ・年間を通じた朝の読書の時間がある。
- ・本を読んだ後，感想を書き留めておく。
- ・各学級に本を置く。

## 8 図書専門委員の活動について

- ・図書だより等の発行。
- ・意見箱の設置，運営。
- ・昼休みの図書室の開放。
- ・入館者数の調査。
- ・新刊紹介。
- ・読書感想文を募集。
- ・ポスターや新刊購入の際のアンケート作り。
- ・読みやすい環境作り。
- ・朝の読書の時間の運営。
- ・重点目標を決め，それを達成するための活動。

## 9 図書室の利用状況について

- ・利用者数は増えている。
- ・エアコン目当てで利用する人が多い。
- ・普段は外で遊ぶ人が多いが，雨の日には利用者が多くなる。
- ・エアコン目当てでなく，熱心に本を読んでいる人も多い。
- ・マナーの悪化（私語，本の紛失など）への対処法として①エアコンを切る。②学年毎に利用時間を決める。

## 10 もっとみんなが読書をするためには

- ・本をジャンル別に整理し，各ジャンル毎の紹介をする。
- ・お薦めの本や興味のある本を紹介する。
- ・人気の本は目立つ場所に置く。
- ・図書だよりなどであらすじを紹介する。
- ・本の人気ランキングをつくる。
- ・幅広い分野の本や人気のある本を購入する。

## 11 読書を推進する取り組みで効果を上げたものは

- ・図書だよりや校内放送などで新刊を紹介する。
- ・朝の読書の時間。
- ・新刊購入の際の欲しい本のアンケートをとる。
- ・文化新聞の発行。
- ・映画化，テレビ化した本や人気の本を購入する。

## 12 学校全体の読書の取り組みについて

- ・朝の読書の時間。
- ・秋の読書月間（週間）。

## 13 秋の読書月間の具体的取り組みについて

### ①貸出について

- ・貸出数を増やす。
- ・貸し出し期間を延長する。

### ②表彰について

- ・期間中，本を多く読んだ人を表彰する。
- ・感想文を昼の放送で流し，その中でよかったものを表彰する。（キャンペーンのとき）
- ③図書館の利用について
  - ・放課後，図書館を開館する。
  - ・学年ごとに日にちを割り振って図書館を利用してもらう。
- ④その他
  - ・読書と呼びかけるポスターを各クラスに作ってもらう。
  - ・読んだ本の冊数を記録する。

#### 14 学校の図書室，地域の図書館への要望

どんな図書館（室）があればよいと思いますか。

- ①蔵書について
  - ・色々なジャンルの本，人気のある本を購入して欲しい。
  - ・探している本がすぐに見つかるようにして欲しい。
  - ・新刊購入の際に，アンケートをとって希望を聞いて欲しい。
- ②検索システムについて
  - ・パソコンで本を検索できるようにして欲しい。
  - ・検索用のパソコンを有効活用する。
  - ・パソコンを入れて，人気のある本，お薦めの本のランキングを作る。
- ③環境について
  - ・読みやすい雰囲気を作って欲しい。
  - ・図書室を広くして欲しい。
  - ・私語を少なくして，自分の世界に入り込めるようにしたい。

#### 15 今まで読んだ本で心に残ったもの

- ・桐原家の人々（茅田砂胡著）
- ・はてしない物語（ミヒャエル・エンデ著）
- ・世界の中心で愛をさけぶ（片山恭一著）
- ・12番目の天使（オグ・マンディーノ著）
- ・三国志
- ・流転の王妃（愛新覚羅浩著）
- ・島津走る（池宮彰一郎著）
- ・ハリーポッター（J. K. ローリング著）
- ・青空の向こう（アレックス・シアラー著）
- ・五体不満足（乙武洋匡著）
- ・オレンジガール（ヨースタイン・ゴルデル著）
- ・白い巨塔（山崎豊子著）

#### 16 みんなが本を好きになるために

- ①広報など
  - ・おもしろい本を積極的に友達に紹介する。
  - ・本のすばらしさを知っている人が呼びかける。
  - ・図書新聞やポスターなどを通しておもしろい本を紹介する。
- ②レイアウトなど
  - ・名前が知られている本を置く。
  - ・お薦めの本をカウンターの傍などの目立つ場所に置く。

- ・特におもしろい本や珍しい表紙の本など目を引くようなものを置く。

### ③姿勢・心がけ

- ・自分が興味を持てる本を見つける。
- ・友達にお薦めの本を教えてください。

## ●その他

### 1 朝の読書の時間について

- ・帰りの会では早く帰りたくて集中できないので朝がよい。

### 2 朝の読書の時間のときに読む本の決め方について

- ・各自が用意する。(マンガ, 雑誌は不可)

### 3 朝の読書の時間を続けているところの状況は

- ・読みたくないという人がいるが, 文化委員などに手伝ってもらい継続している。

### 4 強制的に本を読ませることについて

- ・少しでも読むと読み続けるきっかけになるからよい。
- ・放課後は集中できないから, 朝がよい。読書する日を決めて図書室でするのがよい。

### 5 図書室のマナーをよくする方法について

#### ①マナーがよくない人に対して

- ・返却を延滞する人は全校集会や放送で呼びかける。
- ・先生や図書委員が注意する。
- ・数日間入室禁止にする。

#### ②マナーをよくするために

- ・図書室を閉館する。
- ・夏の貸し出し期間を短くする。

### 6 入室禁止にしても入ってくる人について

- ・まず先生に注意してもらおう。それでもだめな場合は学年別利用にしたらい。

### 7 友人や学校全体を見て本が好きだと思いますか。

- ・半々だ。本が好きでない人も雨の日には興味のある本は読むので, 本が嫌いということはない。
- ・「三国志」「GTO」「世界の中心で愛をさけぶ」などを読む人が多い。
- ・回し読みがはやったのでみんな本が好きだと思う。

### 8 本を読むようになったきっかけは

- ・テレビで見た本や学校に貼ってあったポスターを見たり, 友達から本を紹介してもらった。

## 9 司書の先生やボランティアの人との関わりについて

- ・新刊購入の際に意見を聞いたり，図書室の管理を手伝ってもらう。
- ・司書の先生は週に2回図書館の整理。 ・司書の先生に相談に乗ってもらう。
- ・司書の先生は図書委員会の先生にプリントの確認。

## 10 本の紹介の仕方について

- ・図書委員会として学年毎にお薦めの本を紹介し，個人的には自分の好きな本を十数人に紹介した。
- ・図書委員会で図書だよりを発行したり，新刊購入の際にアンケートを行った。個人としてはおもしろかった本について日常会話の中で話している。

## 11 古典文学は読みますか。

- ・授業で習った「走れメロス」「平家物語」「坊っちゃん」「高瀬舟」。
- ・「十五少年漂流記」「車輪の下」。翻訳家によって表現が違い，外国文学がおもしろく伝わるかどうかは翻訳家次第だと思う。

## 中学生参加者名簿

(敬称略)

学校名	学年	氏名
城香中学校	3年	石橋 由真
筑紫丘中学校	3年	大野 志織
姪浜中学校	3年	岡田 隆
友泉中学校	3年	河本 卓也
原中学校	3年	北島 百合
城香中学校	3年	越地 ゆう子
西福岡中学校	3年	小山 綾香
筑紫丘中学校	3年	澁田 義弘
姪浜中学校	3年	濱小路 友哉
百道中学校	2年	林 直樹
百道中学校	3年	平田 浩士
元岡中学校	3年	深町 茂治
西陵中学校	3年	森川 千理